300–1100 MHz 4入力2出力増幅器



原図はIN1–IN4を共通経路に合成し、OUT1とOUT2へ分配します。300–1100 MHzの表は代表利得30 dB、Psat最大10 dBmを規定。雑音指数は記載されていません。

代表電源5 V、モジュール電流350 mA。外形75 × 60 × 14 mm、RF端子SMA-Kメス。各分岐の利得、アイソレーション、位相バランスは規定されていません。

電気仕様

項目	値	単位
動作周波数	300–1100	MHz
利得	30 (代表値)	dB
飽和出力電力（Psat） [1]	≤10	dBm
入力S11（資料の符号付き値） [2]	−10 (代表値)	dB
電源電圧	5 (代表値)	VDC
動作時電流	350 (代表値)	mA

[1] 飽和出力Psatであり、P1dBや保証線形出力ではありません。

[2] 資料の負のS11表記を保持し、正のリターンロスに変換しません。

絶対最大定格

項目	値	単位
電源電圧の絶対最大定格	≤7 (絶対最大定格。この限界での連続動作や性能は確立されていません。 最大: 7 VDC.)	VDC
入力電力の絶対最大定格	≤12 (絶対最大定格。この限界での連続動作や性能は確立されていません。 最大: 12 dBm.)	dBm
動作温度	−40–+70	°C
保存温度	−40–+85	°C

インターフェースと端子

インターフェース	仕様
RF入力コネクタ	SMA-Kメス
RF出力コネクタ	SMA-Kメス
DC電源端子	貫通コンデンサ
接地端子	接地金属片
RF入力端子数	4

インターフェースと端子

インターフェース	仕様
RF出力端子数	2
信号経路	4入力を合成後に2出力へ分配

機械仕様

項目	値	単位
本体寸法	75 × 60 × 14	mm
取り付け穴中心間距離	55.6 × 70.6	mm
取り付け穴	4 × Φ2.7T (原図のT表記を保持し、穴の構造は解釈していません。)	mm

文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。